

2 これからの図書館サービスの方向性

令和5年10月24日
これからの清瀬の図書館を創造する会
参考資料

1

知的好奇心を満足させるサービス（利用しやすいサービス）

（1）図書館の基本的機能（資料収集、整理、保存、提供）を充実する。

- ① ニーズに適した資料収集
- ② レファレンスサービス
- ③ 情報発信の充実
- ④ 郷土の歴史や文化

（2）すべての市民が利用しやすい図書館サービス基盤を整備する。

- ① 宅配サービス
- ② 障害者サービス

2

市民とともに歩み、他の機関（自治体、大学、多摩六都科学館など）と交流する

（1）来て、見て、参加することで、新たな発見や深い学び、読書の喜びを知るきっかけを提供する。

- ① 読書交流会、DVD上映会など
- ② 運営ボランティア

（2）専門的な機関と協働し、より図書館に親しんでもらえるサービスを提供する。

- ① 大学との連携
- ② 専門機関との連携

2 これからの図書館サービスの方向性

3

子供たちに読書の楽しみを広げるサービス

- (1) 生涯の読書習慣を礎となる乳幼児期の読書環境を整備する。
- (2) 保護者の読書の重要性への理解を促進する。
 - ① 赤ちゃんとお母さんのためのおはなしのじかん
- (3) 学校教育を支援する。
 - ① 図書館を使った調べる学習コンクール
 - ② 市内公立小学校を訪問し、図書館紹介・ブックトーク・素話等を実施

4

ニーズをとらえたサービス

- (1) 他の公共施設と連携しながら利用環境の向上を図り、「学びの場」「憩いの場」「居心地のよい空間」としての機能を果たす。
 - ① 自習スペース
 - ② 新聞・雑誌コーナー
 - ③ 閲覧スペース
- (2) 図書館機能を再構成する。
 - ① 6館の機能の見直し
- (3) 持続可能なサービスを提供できる仕組みをつくる。
 - ① アウトソーシング
 - ② 宅配サービス（再掲）